

奥尻町では、全国各地から寄せられた多くの義援金の中から、当初90億円を原資として被災者の方々の自立復興を強力に援助しようと「災害復興基金」を設立させました。

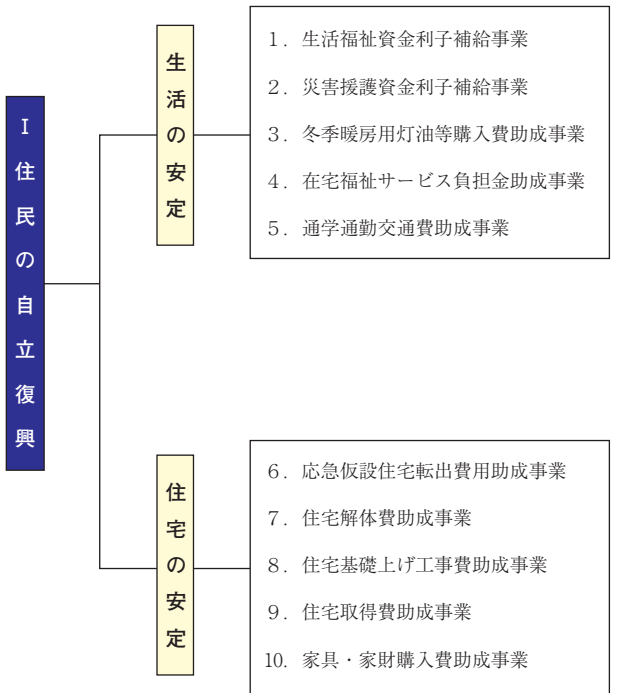
この基金は、町民の皆さんのご要望やご意見をはじめ、国や北海道の助言、指導等を参考にしながら、被災者の方々や町の復興のために、貴重な義援金をいかに有効に役立てるべきかの検討を進めました。

その結果、奥尻町議会の承認を得て右図のとおり73項目に及ぶ支援事業の助成内容を冊子にまとめて全町民に配布しました。

被災者のための支援事業は多種にわたり、様々な角度からの復興基金の助成により、被災者の救済及び町全体の復興が着実に図られました。



▲被害復興基金からの助成により、ほとんどの被災者の住宅建築が図られた



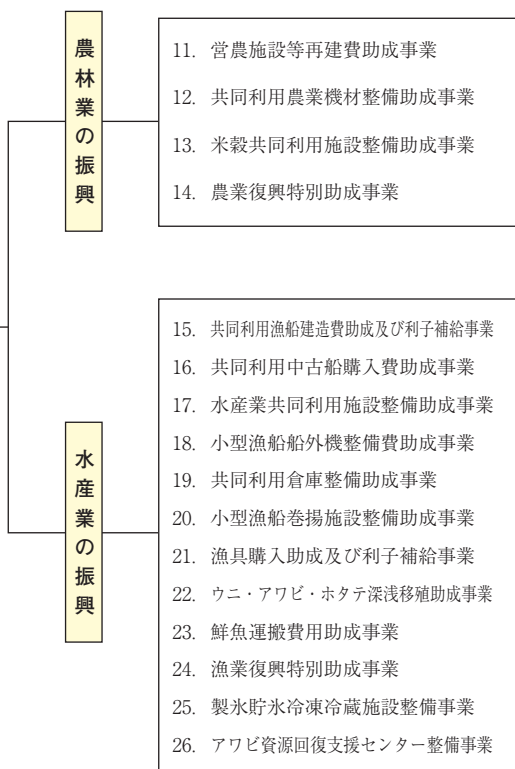
▼津波と火災により跡形もなくなった青苗地区が再び蘇った



▼被災した漁船も FRP 船としていち早く整備された



II 農林水産業の復興支援



災害復興基金

北海道南西沖地震復興の概要

このように、全国各地から寄せられた多くの義援金があれば、今の奥尻町の復興は考えられず、被災者及び奥尻町民一同、あらためて全国の皆様の善意に心から感謝しております。



▲多くの義援金のおかげで確実に復興した青苗地区

津波の高さが随所で示されている



緊急時の避難路も整備された

